

第4回 熊本大学医療コンフリクトマネジメント学術セミナー

医療ADRの理論と実践

—医療コンフリクトへの対応を考える その3—

最近、裁判以外の方法で医療事故紛争の解決を図る医療ADRが注目されています。医療訴訟によっても、当事者だけでの直接交渉によっても、患者・家族と医療者の双方が納得する解決に達するのは難しいからだと思います。そこで今回は、医療ADRの理念とその特徴、医療ADRの現状と今後の課題、患者・家族と医療者を仲介する院内メディエーターのあり方などについて、一緒に考えたいと思います。

セミナープログラム

1) 医療ADRの現状と課題

和田 仁孝 氏 (早稲田大学大学院 法務研究科教授)

2) 紛争対応と院内メディエーターの仕事—病院の現場から—

吉本 譲爾 氏 (医療法人雪ノ聖母会 聖マリア病院メディエーター)

質疑応答・討論

司会 吉田 勇 (熊本大学大学院 社会文化科学研究科教授)

日時：2008年12月14日(日) 13時30分～16時30分

会場：熊本大学工学部 百周年記念館

定員：150名 参加無料



お問い合わせ先

熊本大学大学院社会文化科学研究科
社会人大学院教育支援センター
TEL/FAX 096-342-2390

主催：熊本大学大学院社会文化科学研究科
交渉紛争解決学研究会

共催：熊本大学法学部